

消防部通信

第6回 修了式

令和3年(2024年)3月

西宮市立浜甲子園中学校
消防部

2月29日に、今年度最後の消防部活動となる修了式が行われました。今年度は、5月に新型コロナウイルスの5類移行に伴い、コロナ禍以前の消防署での活動を、たくさん行うことができました。夏休みには心肺蘇生を中心に、救急入門コースを受講することができ、受講証をうけとることもできました。来年度も消防署での活動を予定しています。一緒に貴重な体験をしましょうね。

鳴尾消防署 八幡署長からのお話

鳴尾消防署を代表して、八幡署長と藤本副所長が出席して下さいました。八幡署長からは、災害時の「自助・共助・公助」について話をして下さいました。

「自助」とは、自分で自分の命を守るために最善の行動をすること。「共助」とは、近くにいる人などで、お互いに助け合いながら命を守ること。「公助」とは、公的機関(国・県・市など)が国民の命を守るために行うこと。

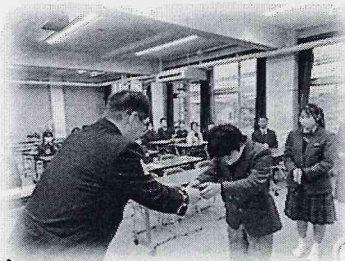
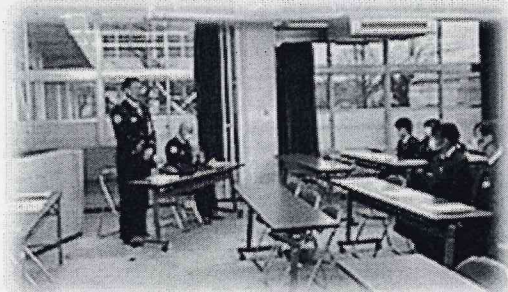
消防部では「共助」に当たる方法をたくさん学びました。災害時だけではなく、近くで何かあった時には、身の安全を一番に確保した上で、勇気を出して助けられる人になってください。

脇田の校長先生からのお話

校長先生からは、浜甲中の卒業生は大人になり社会人になってからでも消防部を印象深く覚えているという話がありました。西宮市に唯一で、長い歴史のある、浜甲子園中学校伝統の部活動を、みなさんも引き継いで行って欲しいです。

救急入門コース受講証

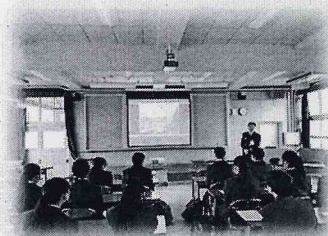
夏休みに行った救急入門コースを受講した生徒へ、受講証が手渡されました。各学年代表が受け取りました。これは心肺蘇生(心臓マッサージとい人工呼吸)、AEDの方法を学び救助できるという証です。ただ1度や2度、習っただけでは忘れてしまいます。繰り返し練習することが大切です。来年度も一緒に練習しましょう！



津波映像の視聴

浜甲子園中学校は名前の通り海が近くにあります。そのため大きな地震が起こった際には揺れがおさまった後の津波にも備えなくてはなりません。

今回は鳴尾消防署より東日本大震災の際に避難しながら撮影した津波映像を準備いただきました。みんなで視聴し、もしも今地震が起こったら自分たちをはどうすれば良いのかを考えました。リアルな避難の声や迫り来る津波の映像は息をのむ迫力で全員食い入るように映像を見ていました。

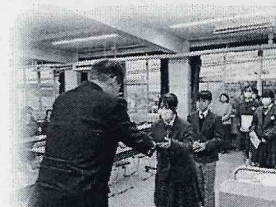


修了書の授与

今年度の消防部活動に参加したみんなに鳴尾消防署より修了書の授与がありました。3年生全員と1・2年の代表が八幡署長より修了書を手渡してもらいました。それ以外の人も、会が終わった後に八幡署長より手渡していただきました。



みんな1年間
よく頑張りました！



3年生から在校生へ

3年生1人1人から、今までの活動で感じたことや、後輩へのメッセージを話してもらいました。今年の消防署での活動を、待ち望んでいた声や、伝統を引き継いで欲しいとの話がありました。3年生の中には、実際に倒れている人に出会い、消防部で学んだことを思い出して、意識確認や救急車要請、情報の引き継ぎを行ってくれた先輩もいたのです。残った1, 2年生も、先輩の思いを引き継いで伝統を繋いでいって下さい！



